

令和6年7月9日（火）

令和6年第2回 岸和田市貝塚市清掃施設組合議会 議員総会

< 会議概要 >

岸和田市貝塚市清掃施設組合

岸和田市貝塚市清掃施設組合

令和6年第2回議員総会

令和6年7月9日(火)

《議 題》

1. クリーンセンターの運転実績について

《資料1-1、1-2、1-3》

2. クリーンセンターリサイクル棟大規模改修工事について

《資料2》

3. 令和6年度議員視察について

《資料3》

< 議 事 概 要 >

開 催 日 時 : 令和6年7月9日(火) 第1回臨時会閉会後

開 催 場 所 : 岸和田市貝塚市清掃施設組合 会議室1

出席議員 (14 名)

1 番	井 舎 英 生	2 番	海 老 原 友 子
3 番	河 合 達 雄	4 番	橘 川 亜 紀
5 番	束 原 佳 一	6 番	反 甫 旭
7 番	友 永 修	8 番	西 田 武 史
9 番	出 原 秀 昭	10 番	中 川 剛
11 番	中 西 真 知 子	12 番	南 野 敬 介
13 番	蓮 池 陽 佑	14 番	前 園 隆 博

欠 席 議 員 (な し)

出 席 理 事 者

管 理 者	永 野 耕 平	副 管 理 者	酒 井 了
事 務 局 長	福 村 勲	事 務 局 次 長	守 行 英 樹
総 務 課 長	河 合 幸 代	環 境 技 術 課 長	太 田 健 一

案 件

1. クリーンセンターの運転実績について
2. クリーンセンターリサイクル棟大規模改修工事について
3. 令和6年度議員視察について

午前10時33分開会

○南野敬介議長

引き続きまして、令和6年第2回議員総会を開催いたします。

本日の案件といたしまして、「クリーンセンターの運転実績について」「クリーンセンターリサイクル棟大規模改修工事について」「令和6年度議員視察について」の3件について議題といたします。

最初に、第1案件の「クリーンセンターの運転実績について」の説明を受けることにいたします。太田環境技術課長。

○太田健一環境技術課長

それでは、案件1の「クリーンセンターの運転実績について」ご報告いたします。

まずは、お手元に資料1-1の令和5年度岸和田市貝塚市クリーンセンター稼働実績、資料1-2令和5年度岸和田市貝塚市クリーンセンター環境測定結果、資料1-3の令和6年度運転及び整備計画をご用意させていただいております。資料に不足はございませんでしょうか。

まずは、資料1-1をご覧ください。

こちらは、表の右から4列目に網かけをしています今年度の合計と、同じく右から2列目になります前年度の差の2つの項目について説明をさせていただきます。

また、表に示しています数値につきましては、桁数が多いため、単位がキログラムであるものについては100キログラム以下を省略してトンで、また単位がトンであるものについても小数点以下を省略して説明いたしますので、あらかじめご了承ください。

まず①の表、搬入量の列をご覧ください。

当クリーンセンターに搬入されたごみの総搬入量でございます。下段の搬入量の合計が令和5年度9万912トンに対して令和4年度が9万3,696トンで、前年度との差がマイナス2,783トンの減少となりました。

次に、②の表、焼却設備については、焼却炉で

処理した可燃ごみの焼却量と運転時間で、令和5年度が9万2,211トン、令和4年度が9万2,238トンで、差がマイナス27トンの減少となりました。

なお、可燃ごみの搬入量よりごみの焼却量が多くなっていますのは、前年度までの可燃ごみがごみピットにたまっている分を焼却処理したからでございます。

焼却炉の運転時間については、令和5年度が1万4,569時間で、令和4年度が1万4,133時間で435時間の増加です。

次、③の表、発電設備については、4項目の電力量について示しております。まず、発電電力量は、可燃ごみの焼却により発生しました熱エネルギーを蒸気に変え、発電した電力量でございます。令和5年度が4,930万4,570キロワットアワー、令和4年度が4,913万7,240キロワットアワーで、その差が16万7,330キロワットアワーの増加となりました。

次に、送電電力量につきましては、組合から売り電しました電力量で、令和5年度が2,540万6,670キロワットアワー、令和4年度が2,541万7,060キロワットアワーで、差が1万390キロワットアワーの減少となりました。

次に、受電電力量は、電力会社より購入した電気量で、令和5年度は62万5,810キロワットアワーで、令和4年度が88万6,010キロワットアワーで、差がマイナス26万200キロワットアワーの減少となりました。

次に、消費電力量については、当クリーンセンターで消費した総電力量で、発電量から自家消費分と、電力会社からの購入分の合計でございます。令和5年度が2,452万3,710キロワットアワー、令和4年度が2,460万6,190キロワットアワーで、差がマイナス8万2,480キロワットアワーの減少となりました。

次に、④の表、処分量については、3項目の搬出量についてご説明します。まず、埋立処分量については、主に焼却後の焼却主灰やせとものなどを大阪湾フェニックスセンターへ最終処分した量

で、令和5年度が1万2,281トン、令和4年度が1万2,267トンで、差が14トンの増加となりました。

次に、処分委託リサイクル量については、主に瓶の割れであるカレットが大半を占めております。カレットの搬出量は、令和5年度が652トン、令和4年度が671トンで、差がマイナス19トンの減少となりました。表の下段の全ての処分委託料の合計では、マイナス40トンの減少となっております。

次、⑤の表、資源化量については、当クリーンセンターから搬出した有価物の搬出量について示しています。主に、缶、瓶、ペットボトルや粗大ごみから取り出した有価物の搬出量の合計です。表の下段の合計で令和5年度が2,166トン、令和4年度が2,311トンで、差がマイナス144トンの減少となりました。

以上のまとめとしまして、令和5年度のごみの総搬入量については、全体でマイナス3%の減少となっております。これにつきましては、国内経済がコロナ禍の3年間を乗り越え、改善しつつあり、30年ぶりの高水準の賃上げや企業の投資意欲など、経済的には前向きな動きが見られます。他方では、賃金上昇は輸入価格の上昇を起点とする物価上昇に追いついていないと思われ、家庭消費は依然として力強さを欠いていることなどの影響がごみの発生量に表れているのではないかと考えられます。

以上が令和5年度稼働実績の報告でございます。

続きまして、資料1－2 令和5年度岸和田市貝塚市クリーンセンター環境測定結果をご覧ください。

まずは①排ガスの排出濃度の表をご覧ください。左側の列は、排ガスの規制対象項目でありますばいじん濃度、硫黄酸化物濃度、窒素酸化物濃度、塩化水素濃度、全水銀濃度、ダイオキシン類濃度の6項目となっております。

左側から5列目、測定結果、6列目が法令等の規制基準値と、その右にクリーンセンター独自の

管理基準値となっております。いずれも、測定結果は全ての項目について管理基準値以内の範囲となっております。

なお、大気汚染防止法では、硫黄酸化物濃度の単位がリュウベノルマルパーアワーで、塩化水素濃度の単位がミリグラムパーリュウベノルマルと分量を表す単位であります。当クリーンセンター独自の管理基準値は濃度を示す単位となっているため、測定結果については管理基準値と対比する形で、括弧内の数値はppmの単位で併記しますのでご確認ください。

次に、②焼却主灰・飛灰固化物のダイオキシン類の表をご覧ください。焼却主灰と飛灰固化物は、大阪湾フェニックスセンターにて埋立て処分となるものであります。測定結果は、ダイオキシン類対策特別措置法における基準の範囲内となっております。

次に、③排水中のダイオキシン類の表をご覧ください。下水道放流水は、排ガスを洗浄した排水を排水処理設備において処理して下水に放流している水でございます。測定結果はダイオキシン類対策特別措置法における基準の範囲内となっております。

今後につきましても、構成市から発生します一般廃棄物を安全かつ安定的に中間処理し、住民の生活環境と公衆衛生の向上を図ってまいります。

以上が環境測定結果の説明となります。

資料替わりまして、資料1－3の令和6年度焼却炉運転計画及び整備計画をご覧ください。

こちらの表は、令和6年度における各炉を上から1号炉、2号炉、3号炉の順に、運転及び整備の期間をそれぞれ月ごとの計画について示しております。6月までの分については実績となります。また、凡例は資料の下側に示しておりますので、併せてご覧ください。

まず、ごみ焼却炉の運転はオレンジ色の部分になります。おおむね2炉の運転を基本とし、1炉ずつ停止させて炉内の清掃、過熱器の点検・清掃、通風設備の手入れなど保守点検を実施する計画と

しております。

次に、定期整備工事は黄色の部分になります。8月頃から1号炉、2号炉、3号炉へ順に工事を行う計画としております。

また、10月のグレーの部分につきましては、約2週間ほどの予定で全炉停止して、廃棄物処理法や電気事業法で定めておられます各設備の法定点検や機能検査を行い、施設の安全性の確認を行います。

このことにより、全炉停止後における焼却ごみ量が大幅に増加することが想定されていますが、11月、12月におきましては焼却炉、2炉運転での焼却を行い、滞りなくごみ処理を進めてまいりたいと考えております。

以上が焼却炉運転及び整備計画の説明でございます。

○南野敬介議長

説明が終わりました。質疑、ご意見を承ります。井舎議員。

○1番 井舎英生議員

詳しい説明ありがとうございました。1点だけ確認したいんですけども、ダイオキシン類の濃度が非常にいい値、低い値を維持していただいているように思うんです。それはなぜかという、私、実はほかのところで、岸貝クリーンセンターは非常にいいんだという外からの意見を聞きまして、何か特別なことをやっておられるのか、ほかのセンターと比べて何か特徴があるのか、その辺何か教えていただきたいなと思って質問しました。

○南野敬介議長

太田環境技術課長。

○太田健一環境技術課長

排ガスのダイオキシン濃度につきましては、当クリーンセンターの焼却炉の形等が特有の形をしておりますので、ダイオキシンのもととなる一酸化炭素などのCOがなかなかうちの炉がよく燃えるような体系の形をしていますので、ダイオキシン類のもととなるものが少ないというところが、うちの炉の大きな特徴かなと思います。

以上です。

○南野敬介議長

井舎議員。

○1番 井舎英生議員

それ以外に、炉の特徴以外に運転管理というのか、その辺での何か技というのはあるんですか。

○南野敬介議長

太田環境技術課長。

○太田健一環境技術課長

近年のごみ処理施設につきましては、活性炭の吹き込みであるとか、その辺のところは大きくは変わらないんですけども、特に清掃とかその辺らもきっちりすることによってダイオキシン類自体も抑えられるというふうに私たちは思っていますので、その辺は定期整備及び通常の点検等で、できるだけ清掃等はこまめに行っているように、私はそういうふうに考えております。

○南野敬介議長

井舎議員。

○1番 井舎英生議員

ありがとうございます。私もほかのところの炉について調査したりしているんですけども、やはり岸貝クリーンセンターのダイオキシンは、非常に低いんだといういい評価を外からも聞きますのでこれを継続していただいて、場合によっては、やっぱり全国ほかの自治体に誇れるような施設になっているんじゃないかなと思いますので、これを情報発信していただいて、その地球環境を、生活環境を非常によりよくしているという、そういうことをアピール材料にさせていただいて、私も誇らしく、またほかにも宣伝したいと思いますので、ありがとうございます。引き続きよろしくお願いします。

○南野敬介議長

ほか、ございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○南野敬介議長

ないようでありますので、本件説明を終わります。

次に、第2案件の「クリーンセンターリサイクル棟大規模改修工事について」の説明を受けることにいたします。太田環境技術課長。

○太田健一環境技術課長

それでは、案件2の「クリーンセンターリサイクル棟大規模改修工事について」ご説明させていただきます。

まずは、お手元に用意させていただいています資料の2、A4縦長の資料でございますが、岸和田市貝塚市クリーンセンターリサイクル棟大規模改修工事についてをご覧ください。資料に不足はございませんでしょうか。

まず、資料下部の工程表をご覧ください。

クリーンセンターの焼却棟の大規模改修工事につきましては、令和2年3月の議会において本契約となり、その後、工事を行い、焼却棟の大規模改修工事は、令和5年7月工事完了しております。今年度よりリサイクル棟の改修工事を行う予定でございます。リサイクル棟は、年間通して資源ごみや粗大ごみを受入れし、リサイクルしている建物でございます。

中でも、粗大ごみを細かく砕く破碎機や瓶の選別機など、稼働をしている運転中は機械が振動します。その影響を受け、建物全体が微振動している特殊な施設となっております。

施設全体が臨海部に位置し、竣工後17年が経過して、年中稼働による建物の老朽化はもとより、強風や塩害による立地条件の影響を多大に受け、建物の中でも外壁・鉄部などの劣化が著しく、年次的な改修が必要となっております。

施設の延命化のために策定した長寿命化総合計画にも、設備や機器の更新がうたわれており、それらを保護する建物も適切に維持や保全を行うことが、施設全体の長寿命化に求められている重要な要素でございます。

建物の補修は長寿命化総合計画内にも、延命化に向けた課題として、外壁改修も年次的に整備を進めていく必要があります。令和6年度からは、リサイクル棟を約3年かけて改修してまいります。

工程表どおりに条件付一般競争入札の参加受付や審査、その後に入札を行った後、落札者と仮契約を結び、今年度の11月の組合議会にて議決を頂き、本契約を締結する予定で進めております。

なお、令和9年度以降につきましては、ごみ搬入者が通行する搬入車路、ごみの重さをはかる計量棟、今この議会を行っています管理棟の改修を順次整備を行い、その後、最終的には煙突の改修も行う予定でおります。

説明は以上でございます。

○南野敬介議長

説明が終わりましたので、質疑、ご意見を承ります。

〔「なし」の声あり〕

○南野敬介議長

ないようでありますので、本件の説明を終わります。

次に、第3案件「令和6年度議員視察について」の協議をお願いいたします。

事務局より経過を説明させたいと思います。太田環境技術課長。

○太田健一環境技術課長

それでは、案件3の「令和6年度議員視察について」、ご説明させていただきます。

資料3の議員視察過年度実績（過去7年）をご覧ください。資料に不足はございませんでしょうか。

こちらの表には、実施年度、実施日、施設名、所在地、能力・規模や竣工年を示しております。表中は上から順に過去の視察先を示しております。

視察の主な目的としましては、施設の維持管理に関すること、施設の長寿命化に関すること、災害廃棄物の処理に関することなど、当クリーンセンターの様々な課題に対する取組に資することで視察を行ってまいりました。

平成29年度の視察は、フェニックス堺基地には組合から出る焼却灰の受入れ状況、京都市東北部クリーンセンターは基幹改良工事の参考にするために視察に参りました。その後、三重中央開発株

式会社三重リサイクルセンターと大栄環境株式会社和泉リサイクルセンターは、災害廃棄物処理の観点から視察に行っております。なお、令和2年度以降、喫緊に視察に行かなければならない懸案事項もなく、新型コロナウイルス感染症の蔓延防止の観点から視察を見合わせております。

以上が過去7年における議員視察の説明でございます。

○南野敬介議長

説明が終わりましたので、質問、ご意見を承ります。

〔「なし」の声あり〕

○南野敬介議長

それでは、今年度の議員視察につきましては、議員視察の実施の可否も含めまして議長・副議長に一任していただき、事務局と十分協議して、次回定例会時の議員総会において議員の皆様へ報告させていただきます。

この際ですから、ほかにご質問、ご意見等はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○南野敬介議長

事務局から連絡等はありませんか。河合総務課長。

○河合幸代総務課長

2点ご報告させていただきます。

7月6日土曜日に令和6年度岸和田・貝塚3Rふれあいフェアが開催されました。当日は午前の参加者619名、午後の参加者106名の計725名の大勢の方が参加され、3Rに関するいろいろなイベントを楽しんでおられました。

次に、第2回定例会を8月13日の火曜日に予定しております。時間につきましては午後1時30分からの開会となっております。正式な通知等につきましては7月30日火曜日にお配りする予定となっておりますので、よろしくお願いいたします。

以上でございます。

○南野敬介議長

それでは、これをもちまして令和6年第2回議

員総会を閉会いたします。どうもありがとうございました。

午前10時57分閉会

令和6年 第2回 岸和田市貝塚市清掃施設組合議会 議員総会 配付資料

議題1

- 資料 1-1 令和5年度稼働実績
- 資料 1-2 令和5年度環境測定結果
- 資料 1-3 令和6年度運転及び整備計画

議題2

- 資料 2 岸和田市貝塚市クリーンセンターリサイクル棟
大規模改修工事について

議題3

- 資料 3 議員視察過年度実績（過去7年）

令和5年度岸和田市貝塚市クリーンセンター稼働実績

(岸和田市貝塚市清掃施設組合)

①「搬入量」

	単位(kg)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	今年度合計	前年度合計	前年度差	前年度比(%)
可燃ごみ	普通ごみ	6,914,080	7,743,280	7,367,090	7,213,760	7,297,500	6,942,220	7,329,350	7,034,310	7,674,660	6,819,470	6,294,380	6,660,040	85,290,140	87,812,420	-2,522,280	-2.9
	可燃性粗大ごみ(直投)	72,920	64,350	81,290	68,460	62,430	61,870	80,380	63,100	62,060	56,570	63,250	67,800	804,480	834,580	-30,100	-3.6
	可燃性粗大ごみ(破碎)	102,550	84,870	87,750	64,100	93,820	65,490	113,080	83,870	93,680	63,300	75,250	77,260	1,005,020	1,012,860	-7,840	-0.8
	小計	7,089,550	7,892,500	7,536,130	7,346,320	7,453,750	7,069,580	7,522,810	7,181,280	7,830,400	6,939,340	6,432,880	6,805,100	87,099,640	89,659,860	-2,560,220	-2.9
粗大ごみ 資源ごみ等	粗大金属	55,090	64,790	54,690	50,540	55,070	48,440	59,610	58,540	85,290	47,340	41,170	60,980	681,550	780,550	-99,000	-12.7
	せともの	13,850	17,470	15,540	15,830	13,350	17,400	12,990	18,660	20,770	12,710	14,750	14,970	188,290	199,610	-11,320	-5.7
	廃乾電池	3,030	2,260	1,760	2,400	2,250	2,810	2,410	2,420	3,440	3,620	2,360	3,620	32,380	33,510	-1,130	-3.4
	その他不燃	760	850	1,000	810	850	400	780	590	1,470	550	1,090	400	9,550	8,000	1,550	19.4
	びん・缶	206,170	236,000	232,110	218,790	265,430	238,910	205,780	216,230	226,160	226,020	196,920	185,940	2,654,460	2,790,170	-135,710	-4.9
	ペットボトル	17,380	21,590	21,340	26,410	31,370	25,450	20,370	17,270	14,800	18,690	15,700	16,690	247,060	224,980	22,080	9.8
	小計	296,280	342,960	326,440	314,780	368,320	333,410	301,940	313,710	351,930	308,930	271,990	282,600	3,813,290	4,036,820	-223,530	-5.5
搬入量合計		7,385,830	8,235,460	7,862,570	7,661,100	7,822,070	7,402,990	7,824,750	7,494,990	8,182,330	7,248,270	6,704,870	7,087,700	90,912,930	93,696,680	-2,783,750	-3.0

②「焼却設備」

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	今年度合計	前年度合計	前年度差	前年度比(%)
焼却量 (t)	1号炉	0.00	4,564.20	4,533.05	4,661.06	1,944.78	4,525.97	0.00	0.00	2,020.19	4,669.19	4,506.50	4,658.32	36,083.26	36,145.28	-62.02	-0.2
	2号炉	4,471.74	53.88	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3,890.27	4,665.71	4,639.58	59.37	0.00	17,780.55	30,873.79	-13,093.24	-42.4
	3号炉	4,505.49	4,587.42	4,490.64	135.33	4,951.30	4,444.06	2,248.76	4,758.07	3,581.31	0.00	12.58	4,632.56	38,347.52	25,219.90	13,127.62	52.1
	計	8,977.23	9,205.50	9,023.69	4,796.39	6,896.08	8,970.03	2,248.76	8,648.34	10,267.21	9,308.77	4,578.45	9,290.88	92,211.33	92,238.97	-27.64	0.0
運転時間 (h)	1号炉	0.00	736.75	720.00	744.00	326.52	675.67	0.00	0.00	321.68	744.00	696.00	744.00	5,708.62	5,434.89	273.73	5.0
	2号炉	720.00	10.45	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	585.28	744.00	744.00	10.47	0.00	2,814.20	4,982.02	-2,167.82	-43.5
	3号炉	720.00	744.00	720.00	17.63	744.00	720.00	346.33	713.32	576.27	0.00	1.60	744.00	6,047.15	3,717.08	2,330.07	62.7
	計	1,440.00	1,491.20	1,440.00	761.63	1,070.52	1,395.67	346.33	1,298.60	1,641.95	1,488.00	708.07	1,488.00	14,569.97	14,133.99	435.98	3.1

③「発電設備」

	単位(kwh)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	今年度合計	前年度合計	前年度差	前年度比(%)
電力量	発電電力	4,739,360	5,115,930	4,858,550	2,359,090	3,667,780	4,982,530	1,111,970	4,799,320	5,622,500	5,000,100	2,025,560	5,021,880	49,304,570	49,137,240	167,330	0.3
	送電電力	2,762,980	3,031,590	2,708,010	578,980	1,548,160	2,614,390	282,940	2,671,720	3,286,300	2,780,340	333,160	2,808,100	25,406,670	25,417,060	-10,390	0.0
	受電電力	0	0	0	18,790	11,040	580	508,100	27,320	0	0	59,980	0	625,810	886,010	-260,200	-29.4
	消費電力	1,976,380	2,084,340	2,150,540	1,798,900	2,130,660	2,368,720	1,337,130	2,154,920	2,336,200	2,219,760	1,752,380	2,213,780	24,523,710	24,606,190	-82,480	-0.3

④「処分量」

	単位(kg)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	今年度合計	前年度合計	前年度差	前年度比(%)
埋め立て 処分量	焼却主灰	919,920	1,011,020	1,046,940	455,740	760,590	910,050	313,860	809,630	969,800	992,640	578,260	858,120	9,626,570	9,572,020	54,550	0.6
	飛灰固化物	184,250	255,910	228,250	127,180	205,530	186,540	105,730	171,320	168,190	259,930	181,320	154,160	2,228,310	2,229,260	-950	0.0
	せともの	32,930	40,110	32,720	41,210	34,100	0	42,980	42,400	42,720	34,350	42,960	40,580	427,060	466,660	-39,600	-8.5
	合計	1,137,100	1,307,040	1,307,910	624,130	1,000,220	1,096,590	462,570	1,023,350	1,180,710	1,286,920	802,540	1,052,860	12,281,940	12,267,940	14,000	0.1
処分委託 リサイクル	廃乾電池	0	0	0	0	10,890	0	10,940	0	0	0	10,990	0	32,820	32,810	10	0.0
	廃蛍光灯	0	0	1,940	1,910	0	0	1,850	0	0	1,930	0	1,970	9,600	11,310	-1,710	-15.1
	その他びん	0	9,530	8,110	0	0	9,480	8,890	0	9,260	0	9,280	10,150	64,700	88,820	-24,120	-27.2
	小型家電	0	0	0	0	740	0	0	0	600	0	590	720	2,650	3,080	-430	-14.0
	カレット	0	123,620	64,210	36,800	45,790	69,060	35,240	77,110	54,640	25,360	91,160	29,070	652,060	671,370	-19,310	-2.9
	消火器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	10	30	-20	-66.7
	二次電池	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	140	0	140	120	20	16.7
	破碎アルミ	0	0	0	0	0	5,300	0	0	5,770	0	0	4,140	15,210	10,410	4,800	46.1
	合計	0	133,150	74,260	38,710	57,420	83,840	56,920	77,110	70,270	27,290	112,160	46,060	777,190	817,950	-40,760	-5.0

⑤「資源化量」

	単位(kg)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	今年度合計	前年度合計	前年度差	前年度比(%)
有価物 搬出量	びん(無色)	0	28,110	10,340	19,880	10,090	20,470	20,370	20,450	10,100	19,270	20,360	10,150	189,590	233,810	-44,220	-18.9
	びん(茶)	0	28,070	20,040	19,530	26,830	27,610	20,300	30,720	20,340	20,610	20,180	18,210	252,440	302,520	-50,080	-16.6
	大塊物(金属)	0	5,550	6,310	0	5,290	6,320	0	4,080	7,600	6,750	0	5,160	47,060	49,370	-2,310	-4.7
	スチール缶	0	16,530	51,060	17,910	17,410	16,310	33,290	16,920	34,860	17,110	14,290	25,850	261,540	282,820	-21,280	-7.5
	破碎スチール	75,990	43,610	50,400	32,320	46,150	36,850	18,130	29,220	61,410	54,740	56,760	30,370	535,950	557,660	-21,710	-3.9
	スプリングマット	1,000	5,150	1,790	3,520	880	2,820	3,210	2,880	2,180	2,850	1,060	3,080	30,420	34,230	-3,810	-11.1
	アルミ缶	0	35,180	11,710	23,240	22,500	23,320	22,770	22,910	23,030	22,410	11,610	23,060	241,740	276,500	-34,760	-12.6
	破碎アルミ	0	0	0	0	0	4,370	0	0	0	0	0	0	4,370	12,150	-7,780	-64.0
	ペットボトル	26,570	59,580	53,710	47,370	73,430	72,170	56,910	54,740	39,920	47,020	32,400	39,970	603,790	562,410	41,380	7.4
	合計	103,560	221,780	205,360	163,770	202,580	210,240	174,980	181,920	199,440	190,760	156,660	155,850	2,166,900	2,311,470	-144,570	-6.3

令和5年度岸和田市貝塚市クリーンセンター環境測定結果

(岸和田市貝塚市清掃施設組合)

①排ガスの排出濃度

規制対象項目	測定施設	測定年月日	単位	測定結果		法令等の規制基準値	管理基準値	
ばいじん濃度						大気汚染防止法		
	1号炉	R5.5.16	g/㎥N	<0.0007		0.04g/㎥N以下	0.01 g/㎥N	
		R5.7.4		<0.0006				
		R5.8.14		<0.0006				
		R6.1.15		<0.0006				
		R6.3.7		<0.0007				
	2号炉	R5.11.29		<0.001				
		R6.1.15		<0.0006				
	3号炉	R5.5.17		<0.0007				
		R5.8.14		<0.0006				
		R5.9.26		<0.0006				
		R5.11.29		<0.001				
		R6.3.7		<0.0007				
硫黄酸化物排出量 (硫黄酸化物濃度)					()内はppm			大気汚染防止法 K値から求めた規制値※1
	1号炉	R5.5.16	㎥N/h	0.0091	(0.2)	24.2	㎥N/h以下	10ppm
		R5.7.4		0.0037	(0.1)	24.9		
		R5.8.14		0.013	(0.2)	24.2		
		R6.1.15		0.0067	(0.1)	24.1		
		R6.3.7		0.0036	(0.1)	24.4		
	2号炉	R5.11.29		<0.004	(<0.06)	25.3		
		R6.1.15		0.0048	(0.1)	23.7		
	3号炉	R5.5.17		0.0031	(<0.1)	24.3		
		R5.8.14		0.0034	(0.1)	24.6		
		R5.9.26		0.0036	(0.1)	25.0		
		R5.11.29		0.0042	(0.1)	26.0		
		R6.3.7		0.0035	(0.1)	24.2		
	窒素酸化物濃度							
		1号炉	R5.5.16	ppm	10		250ppm以下	30ppm
			R5.7.4		15			
			R5.8.14		19			
R6.1.15			18					
R6.3.7			19					
2号炉		R5.11.29	23					
		R6.1.15	26					
3号炉		R5.5.17	19					
		R5.8.14	21					
		R5.9.26	22					
		R5.11.29	22					
		R6.3.7	22					
塩化水素濃度					()内はppm			
	1号炉	R5.5.16	mg/㎥N	<1	(<0.7)	700mg/㎥N以下 (430ppm以下)	15ppm	
		R5.7.4		<0.6	(<0.6)			
		R5.8.14		<1	(<1)			
		R6.1.15		<0.6	(<0.6)			
		R6.3.7		<0.7	(<0.7)			
	2号炉	R5.11.29		<0.6	(<0.6)			
		R6.1.15		<0.6	(<0.6)			
	3号炉	R5.5.17		<0.7	(<0.7)			
		R5.8.14		<0.6	(<0.6)			
		R5.9.26		<0.6	(<0.6)			
		R5.11.29		<0.7	(<0.7)			
		R6.3.7		<0.7	(<0.7)			

規制対象項目	測定施設	測定年月日	単位	測定結果	法令等の規制基準値	管理基準値
全水銀濃度	1号炉	R5.5.16	μg/㎥N	0.05	大気汚染防止法 ※2 50 μg/㎥N	30 μg/㎥N
		R5.8.14		0.05		
		R6.1.15		0.07		
	2号炉	R5.11.29		0.27		
		R5.8.14		0.04		
	3号炉	R5.9.26		0.19		
		R5.11.29		0.80		
		R6.3.7		0.29		
ダイオキシン類濃度	1号炉	R5.7.4	ng-TEQ/㎥N	0.0000040	ダイオキシン類対策特別措置法 0.10 ng-TEQ/㎥N以下	0.10 ng-TEQ/㎥N
	2号炉	R5.11.29		0.000046		
	3号炉	R5.5.17		0.000015		

備考:ばいじん濃度・硫黄酸化物濃度・窒素酸化物濃度・塩化水素濃度・全水銀濃度は酸素濃度12%の状態に補正した値である。

②焼却主灰・飛灰固化物のダイオキシン類

規制対象項目	測定物	測定年月日	単位	測定結果	関係法令等および規制基準値
ダイオキシン類	焼却主灰	R5.7.3	ng-TEQ/g	0.0054	ダイオキシン類対策特別措置法 3 ng-TEQ/g以下
	飛灰固化物	R5.7.3		0.37	

③排水中のダイオキシン類

規制対象項目	測定物	測定年月日	単位	測定結果	関係法令等および規制基準値
ダイオキシン類	下水道放流水	R5.11.13	pg-TEQ/L	0	ダイオキシン類対策特別措置法 10 pg-TEQ/L以下

※1 K値とは地域ごとに定められた値
※2 大気汚染防止法の改正(平成30年4月1日施行)により、水銀が規制対象物質となった。

令和6年度 運転及び整備計画

焼却炉		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1号炉	運転												
	整備												
2号炉	運転												
	整備												
3号炉	運転												
	整備												

焼却炉運転計画

焼却炉整備工事計画

岸和田市貝塚市クリーンセンターリサイクル棟大規模改修工事について

リサイクル棟は年間通して資源ごみや粗大ごみを受入し、リサイクルしている建物です。中でも粗大ごみをリサイクルするために細かく砕く破砕機が稼働し、ビン選別機などの運転中には機器が振動する影響をうけ建物全体が微振動する特殊な施設です。

施設全体が臨海部に位置し、竣工後 17 年が経過しています。年中稼働による建物の老朽化はもとより、強風や塩害による立地条件の影響を多大に受け、建物の劣化（特に外壁・鉄部）も著しく年次的な改修が必要となってきました。

施設の延命化のため策定した長寿命化総合計画に設備・機器の更新が謳われており、それらを保護する建物も適切に維持・保全を行うことが施設全体に求められている重要な要素であります。

建物の補修は長寿命化総合計画にも延命化に向けた課題として明記されていますように、外壁等の改修も基幹的設備改良工事と並行して年次的に整備を進めていく必要があります、特に劣化の著しいごみ焼却棟の大規模改修工事は令和５年７月に完了しました。次にリサイクル棟を改修する計画で進めております。なお、令和９年度以降は搬入車路・計量棟・管理棟の改修を行い、その後に煙突の改修を予定していきます。

外壁雨漏り



鉄骨の錆の状況



外壁クラック状況

[illegible]

議員視察過年度実績（過去 7 年）

実施年度	実施日	施設名	所在地	能力・規模 等		竣工
H29	11 月 1 日	フェニックス堺基地	堺市西区	取扱可能廃棄物量 9,900t/日	—	H4 年 3 月
		京都市東北部クリーンセンター	京都市左京区	焼却炉 350t/日×2炉	発電容量 15,000kW	H13 年 3 月
H30	11 月 9 日	三重中央開発(株)三重リサイクルセンター	三重県伊賀市	処分場 7ha	埋立容量 617万 m ³	H 元年 3 月
R元	11 月 13 日	大栄環境(株)和泉リサイクルセンター	大阪府和泉市	和泉エコプラザ 破碎選別施設 808.1t/日	管理型最終処分 場 埋立容量 338万 m ³	S54 年 10 月
R2	—	実 施 せ ず	—	—	—	—
R3	—	実 施 せ ず	—	—	—	—
R4	—	実 施 せ ず	—	—	—	—
R5	—	実 施 せ ず	—	—	—	—

